

和傘柄卷用セル藤

大晋セルロイド工業所

吉川 常太郎

明治二十六年八月生

事務所 大阪市東成區大今里町五五九  
並工場 電話東一五七一



所主吉川常太郎氏は大阪  
市出生、大阪立高商二ヶ  
年修業、令兄松太郎氏は高  
商卒業陸軍主計たりしこと  
あり、大正七年九月兄氏を  
助けて大晋セルロイド工業  
所を現在の個所に起し、始  
めは専ら刷子、次で眼鏡、櫛を製造せしが、其後兄氏が之が  
経営を廢したので、その工場を繼承して新發明たるセルロイ  
ド藤の製造に多大な研究と犠牲とを拂ひ、業界にセルロイド  
應用品として一新野界を開拓し、其の功や偉大にして輝かし  
いものである。

氏は又業界に於て現に再製工業組合理事たる外安全會の分  
會長たりし事あり。

セルロイド藤發明の動機に關し同氏の語る所によれば、始  
め一職工が眼鏡の蔓を作るに際し板を細棒狀に切り、これを  
蔓に作つたのにヒントを得、當時切斷した帶狀生地を三本位

接着してこれをセル藤として傘に捲きつけたのが聊も本發明  
品の濫觴であつた。併し之等の製法は實際能率が揚らぬので  
これを更に連続的に押し出し製作する事を工夫したのが即ち、  
『セルロイド連續線條製造裝置』の發明である。此の方法は特  
許文獻に明かに示されてあるが、要は押出された帶狀の生地  
を長くたぐりて之を水中に浸漬し硬化し、後電氣乾燥により  
て完成したる事に在り。氏のこの發明の功勞や空しからず、  
現今流行時代の寵兒となりて津々浦々の傘屋迄之が普及を見  
るに至りたるは洵に所以なしとせず、氏の業界に於ける功績  
は永久に不滅である。

自轉車ニギリ油差、雜貨製造販賣

後藤セルロイド化工所

後藤 藤善吉

明治二十九年七月生

營業所 名古屋市東區千種町豊前九四

電話東四七二二番

分工場 名古屋市東區高松町・同山田町

當社は大正九年一月創立に係り、業主善吉氏は名古屋市の  
出生、高等小學校卒業後、同地富士屋セルロイド工場主即ち  
現在日本自轉車工業組合聯合會理事長林和三郎氏に就て斯業  
を修得するところあり、數年の後獨立して斯業開始せり。本  
所の製品自轉車ニギリは特許權を應用し多年の經驗と熟練せ  
る手腕とを以てその製品は耐久性に富み而かも實用的で内外  
共に好評を博しつゝあり。その製産能力は本邦全産高の三分  
ノ一を占め、工場は各工場に分散し、各々其の第一期弟子を  
して之を分擔従業せしめ只管能率をあげ製造を合理化せしめ  
て居る。

尙近く望遠鏡、其他雜貨の製造を市外勝川分工場に企畫し  
つゝあり。

同地方にグリツプ業者七軒あり、氏が全力を盡して統制を  
期し、名古屋セルロイド界の一物産たるに至る、氏の功績に  
與つて居る。

セルロイド製リーディンググラス  
文房具、各種雜貨製造販賣

村田セルロイド工業所

村田 季松

明治二十五年生

營業所 大阪府中河内郡布施町荒川七九六

電話小阪三六九番

工場 大阪市東成區大今里町



所主 村田季松氏は愛媛縣  
大洲在出身、大正十年浪速  
セルロイド株式會社に入社  
昭和三年退社して獨立斯業  
開始せられ、始めは内地向  
文具雜貨を主として製造し

その間阪西セルロイド工業所を起して生地の製造を兼業され  
たが後之を廢し、今は専ら文房具雜貨の製造輸出に邁進せら  
れ、業礎の確立を達せらるに至れり、其の製造に係るリーデ  
ングラス(口繪參照)の如きは多量に歐米各國に輸出されて  
好評を博して居る。

當主は防火安全會分會長を勤める事二回、又現に布施町商  
工會理事等の位置に推舉されて居る。

### セルロイド再製生地板並に雜貨製造

大同セルロイド合名會社

代表社員 植木義三 明治二十五年八月生

營業所 大阪市外布施町東足代二九七

並工場

自 宅 大阪天王寺區上ノ宮町一二

電話天王寺三六〇五番

工場史 創業は大正十一年五月、從來住吉區住吉町に於て經營し居たりしも、昭和八年八月前記の個所に擴張移轉せり當所は敷地二百八十坪、建築坪數百二十坪、營業所、工場、倉庫、汽罐室、乾燥室、干場、屑捌別場、等相應完備せり。



代表社員植木義三氏は大阪の人、私立明星商業學校、市立大阪高等商業學校、東京明大商科の出身なり、元大阪稅務監督局所得營業稅調查囑託、北野實修女學校教師又は大阪毎日新聞社水

泳教師など風變りの經歷を有す。

大正十一年五月元大日本社員森田茂樹氏の勧めに依り現業界に入る。最初の事業はその發明新案に係る帽子附屬品セーパーであつた。其の構造組立の有効なる之が時代の流行に投じ、賣行非常に宜しく、之れに依りて成績大に揚り、今日の

### セルロイド容器、文房具、雜貨製造販賣

大宅セルロイド加工所

大宅 房 治 明治六年生

營業所 大阪市東成區片江町六五四

並工場

電話天王寺一九五六番

自 宅 大阪市港區四條通二丁目一四

電話西一七二八番

當所主大宅房治氏は香川縣善通寺の出身。明治二十七年來阪、鼈甲小間物商に入店し鼈甲及びマガヒ加工に従事す。明治三十二年頃輸入セルロイド生地にて鼈甲やマガヒ加工による方法を用ひて玉の簪等セルロイド頭飾品加工の第一歩を印されたる本邦セルロイド業界の先輩なり。

氏は着實専心加工に貢献する所頗る多く益々其の技能を發揮され、此尊き體験と深き信念を以てより自ら工場内の人を指導養成し、其の製品は廣く各市場に販賣されて聲價を博して居る。

氏は組合の代議員に當選する事二回、築港方面に於ける方面委員、學校後援會長等の名譽職に推されて信望を博して居る。

業礎を造り、次でカラー、カフスの製造に着目し、住吉に工場を起し、この製造を始めた。以來業容順調極めて着實なる經營振と相俟ち今日に至る。昭和八年八月現在の個所に新工場を建設し、原料生地の自給から製品に及び、一般其他再製薄生地板の製造販賣をも行ふ。現在製造に係る雜貨向薄板生地は優良にして採算上に於ても加工業者より稱讚されつゝあり。又カラー、カフスの加工製産は市場の大半を獲得し、其價格品質に於て斷然群を抜き、將來益々發展の途にあり。

氏の業界公的事歴としては曾て同業組合の評議員を勤めた時、業界特定銀行、特定保險會社の制定を爲し、特定保險會社は自解したるも、今日業界銀行三和銀行王造支店は氏が在任中に制定したものなり。現在は大阪セルロイド再製生地工業組合の理事長たるの要職にありて知識階級側として又公明妥當なる主義政策家として各方面より囑望せられて居る。

### セルロイド再製棒、パイフ生地製造販賣

浮島セルロイド工業所

浮島 重 太郎 明治二十二年生

營業所 大阪市外布施町大字荒川七九六

並工場

電話小阪四六五番



業主浮島重氏は神奈川縣足柄下郡曾我の畔にて出生大正三年來阪、鶴橋太田バ イプ工場に入りて斯業修得後、大正十一年獨立して鶴

橋にて再製事業開始、其より業務擴張の爲め昭和五年此の布施町に理想的工場と住宅を新築し益々優秀品を作り斯界に貢献する所あり。同所製品は主として婦人頭髮用ハリピン、紡績用木管腕環等に使用される。

氏は現在再製工業組合の理事たり。

再製生地（棒、管、櫛、腕環）製造販賣

山田セルロイド工場

山田 幾松

明治十六年十二月生

営業所並工場 大阪市東成區東小橋南之町一丁目一五

工場主山田幾松氏は大阪市南區鰻谷の出生、幼少の頃より實業を志し、長じて南區順慶町二丁目山中平兵衛氏商店に仕へ、明治四十三年頃獨立して小間物商を開業し、多數のセルロイド製品を販賣せしが、大正六年一月前記の場所に於て専ら再製生地棒パイプ製造を開始し、品質の改善製造技術の進歩に腐心せらる。

氏は人と爲り温良恭謙、儀禮に委しく且つ能筆の人、業界に盡す事多く、現に大阪セルロイド同業組合役員、大阪セルロイド再製生地工業組合副理事長の要職にあり。

櫛、頭飾品製造販賣

岩本 幸太郎

明治二十一年生

営業所 大阪市東成區片江町三番地

電話天王寺四四〇五番



業主岩本幸太郎氏は奈良縣吉野郡黒瀧村字堂原出身中學二年修學、大正二年六月來阪米澤熊藏氏の家にあつて土屋留吉氏に就て數ヶ月間斯業を修得するところあり、次で刷子見習工として従業して居たが、二十一歳の時獨立して刷子業をなす事三ヶ年、次でセルロイド業に携はり主として頭飾品を作る。

氏は大正十年大阪にセルロイド革新會なるもの堺に發會式を擧ぐるや、選ばれて之に會長たり、其後セルロイド同業組合の代議員、評議員に選ばれ議長を兼ねたり。

氏は雄辯の士にして公開席上諤々の正論は業界の針路に大なるポイントを與ふる事尠からず、現在は輸出櫛を専らとして斯業の爲めに盡す事少からざる中堅錚々たる士である。

セルロイド製

女櫛、散髮櫛、カラ、ヘーヤスライド一般雜貨輸出向學生向グレートカラ、カウス、フローチ、製造發賣元

北川正號セルロイド工業所

延増 正敏

明治卅二年十月二日生

営業所 大阪市東成區東小橋南之町三ノ八〇

電話南一五八四番

工場 大阪府中河内郡長瀬村柏田五七

自宅 大阪府中河内郡長瀬村柏田一〇八八



し、専ら北川正號を以つて其の商號とし今日に至る。

氏の業歴を窺ふに明治四十五年頃難波圓手町にありし當時大阪ゴム櫛業者羽野嘉吉氏の店に入り業を修得す。羽野氏が其後今宮に移り工場を經營し茲にて歿したる頃、氏は其の一切を切もりして師家を補けたり。斯くして十年修業の後、大

業主延増氏は丹波國南桑

田郡龜岡町出身、父は舊藩

士也。始め叔父に當る北川

家を繼ぐ爲め其の姓を冒し

たが、中途三十二、三歳の

頃別に其の後繼者定めしか

ば、氏は元の延増姓に復歸

す。



瓦古の後前期良奈

正十五年獨立して鶴橋に斯業を開始す。爾來營業品の需要市場に就て苦心研究するところあり、其の爲め數回南北支那、滿洲へ出張、大にセルロイド頭飾品の販賣擴張と市場嗜好を調査され、専ら貿易に努力されて居る。

氏の業界公私の事歴としては、櫛工業組合の理事並に同業組合の代議員に當選する事數回、セルロイド製品製造並に輸出商として堅實なる經營をなし業界の中堅たるの人である。

セルロイド歯刷子並ニハンドル製造販賣

上野介稔

明治二十三年六月生

(舊名 寅吉)

營業所 大阪市東成區中川町九番地ノ一

並工場

電話天王寺二六三九番

業主上野介稔氏は和歌山縣伊都郡紀見村の出身にして、大正三年頃大阪市西野田茶園町平井齒刷子工場に入り修業する事二ヶ年、後同所で獨立開業、昭和五年一月東成區猪飼野中三丁目二十九番地へ移業し大に業勢を發展せしめたが、尙ほ能率の増進と優良品を製出すべく、昭和九年現在の所へ理想的工場と事務所を新設して、益々業務の發展に努力されつゝある有力なるブラシ業者である。

セルロイド腕環、雜貨

合名會社 田中彌セルロイド工業所

田中市次郎

明治三十三年二月生

營業所 大阪市東成區東桃谷町二丁目十一番地

並ニ工場

電話天王寺二六七八番

業主田中市次郎氏は大阪府堺市の出身、大正四年頃當時堺市に在りし東洋セルロイド會社に入社し斯業に第一步を印せり、こゝに四ヶ年間勤務の後退社し獨立開業する事二ヶ年、家庭の都合により、これを廢して阿倍野の小山セルロイド専屬工場たりし田中彌吉氏の工場に入所、大正十三年田中氏は小山セルロイドの専屬を廢して現在の營業所並に工場へ移轉し、専ら腕環雜貨の製造に躍進するや氏は常に勤務精勵日夜忠實に仕へて従業員を督勵する事久しく同工場をして益々隆盛に努力したる模範の士なり。  
氏の赤心誠意や田中氏の認める處となりその女婿に迎へられたり。

昭和七年四月十六日嚴父田中彌吉氏の長逝に逢ひ、後氏はこれを繼承し、嚴父の意志を體し業務に勉勵せしかば業礎確實以て今日の隆昌を見るに至る。

最近中河内郡長瀬方面に土地を買收し將來茲に新工場を建設し之れに重點を置かれると聞く。

氏の公私事歴としては腕環工業組合理事、衛生組合評議員國勢調査員として業内外に信用あり、將來を囑望さる。

セルロイド眼鏡製造販賣

齋藤セルロイド工業所

齋藤充弘

明治十六年八月生

(舊名 秋之助)

營業所 大阪市東成區東桃谷町二ノ五

並工場

大阪府中河内郡龍華町字植松一一七

(省線八尾驛南半丁)

電話八尾五一六番

業主齋藤充弘氏は山口縣豐浦郡の出身、明治四十三年頃來阪、セルロイド加工の傍セルロイド屑の取扱に關係したのが本業に入つた端緒である。其後輸出向靴型ナイフ及び朝鮮頭飾品の加工を始めたが大正五、六年頃から輸出向眼鏡の製造を始め低廉なる品を多量に製産し、米國及び濠洲に供給してゐる。

氏は最近業務の發展を期すべく昭和九年十一月現工場地たる八尾町郊外に約三百坪の地所をトシ、茲に數棟の作業場を建設し、氏獨特の製法により二十餘人の従業員を役使して、益々其の生産能率を高め、需要市場の満足を充さんとしつゝある、眞に活動的工業家の一典型である。

ラクトロイド高級鉦製造販賣

藤井鉦工業所

藤井與夫

明治三十八年生

營業所 大阪府堺市北向陽町二六二

並工場

電話堺三〇四一番

所主藤井與夫氏は三重縣阿山郡川合村出身、大正八年水牛角鉦の製造を京都府下に於て開業、大正十二年迄營業、その後堺市北半町に移り昭和四年頃よりナット鉦の傍らベークライト鉦の研究を試みしが、其成績面白からず、時會々ラクトロイドの賣出あり、之が鉦應用に有用なるに着眼し始めてラクトロイドの加工に變じ、業務に精勵發展され以て今日の盛大に至る。

即ち昭和九年六月現在の箇所へ營業所及工場を建築し北半町より移轉す。新工場は敷地二百坪、建坪百二十坪、設備も自動式機械を選び能率の増進を計り、一ヶ月優に三萬ゴロスの製造能力を有し、従業員三十六名なり。

現在はラクトロイド及ナット鉦の製造に邁進され、貿易品又内地向の高級品を作つて居るが、最近尿素樹脂の透明品を加工し高級品を製造されて居る。尙又當工場の特長として指摘力説すべきは從來の仕上げ艶出し方法の他、外國にて行はれて居る薬品漬浸艶出法を行ふて得意先にサーピスを致す等、總て微細なる點に研究を遂げられて居る。

又當所主は常に鉦の流行に添ふべく其のデザインに就ても絶えず新規考案に没頭する事等、業務に忠實に努力され、益々隆昌を極めて居る、蓋しこの工場は美術鉦代表工場の一つである。

セルロイド玩具、自轉車附屬品  
化粧品容器、文具其他雜貨  
特許セルロイド印刷、原料生地

### 永峰セルロイド株式會社

代表者 專務取締役 永峰 兼松

本社 東京市荒川區尾久町九丁目三四八〇  
並工場 電話下谷一三二七番

東京販賣店 東京市淺草區藏前二丁目二一

電話淺草二〇三六番

大阪販賣店 大阪市東區瓦町一丁目

電話本局五二三二番

當社は我がセルロイド工業に最も古き歴史を有する永峰先  
々代清次郎氏の經營に起源を持ち、明治四十四年前身千代田  
セルロイド會社から大正六年頃變更して現今の名稱に改め  
たり。會社は先代清二郎氏逝去の後を受けて兼松氏が代表者  
たり。孝雄氏は營業方面を擔任さる、同社は先に減資して會  
社基礎の充實を計り、優良品の製出に努めたる結果、最近業  
績頗みに擧り従業員三百名にて内外よりの注文に忙殺されて  
居る盛況に達して居る。

同所製品は品質丈夫、意匠斬新なれば内地デパートを始め  
一流商店に好評を博し、輸出にも多量出でゐる、東京唯一代  
表的セルロイド會社である。

### セルロイド玩具、雜貨 製造販賣

櫻井 廣直 明治二十一年生

營業所 東京市荒川區尾久町一ノ九九一

電話下谷七五五二番

櫻井廣直氏は長野縣小縣郡出身、明治四十年東上し、永峰  
セルロイドの店に入る。當時は工場は裏にあつてピンポンボ  
ール、ペン軸等の製造を修業、大正六年頃尾久町に硝化綿製  
造工場を建てるに當り、氏は一職工として潜かに大日本社工場  
に勤めて硝化綿の製法を研究する等、永峰セルロイド工場に  
二十ヶ年の永きに亘りて功績を残して圓滿退社、大正十三年  
八月現在の個所に於て獨立開業、セルロイド玩具、雜貨等の  
製造をなし販路の開拓、製品の改良等總てに努力され益々業  
礎確實を加へたり。

氏は最近セロハン製ブロード玩具及雜貨の製法を發明工夫  
して優秀製品を市場に提供して大なる好評を博して居る。

セロハン紙は不燃性なるも吸濕性なる爲めこれの加工は難  
問題とされて居たが、氏は過去三年間不眠不休専心研究さ  
れたる結果、耐水性防濕劑及接着劑の完全なるものを發明し  
セロハンブロード玩具、ブロード、セード(電燈笠)を製出す  
るに至る。氏は業界に於てかゝる新製品を作り加工製造に對  
しての一大野界を開拓せる先驅者で、そのブロード製品に於  
ては新案種十種、各國の權利も多く獲得して居る。

氏の公的事歴としては所在地尾久町の草開として地元の信  
用厚く曾て東京市會議員たる事あり、組合關係にては玩具工  
業組合の理事長たりし事あり、斯界の中堅にして人格高潔温  
情家として囑望されて居る。

### セルロイド 生地販賣、頭飾品雜貨輸出

三浦商店

三浦 督治 明治卅九年六月廿八日生

營業所 東京市淺草區淺草橋一丁目四番地ノ一

電話淺草四三二五・四三二六番

業主三浦督治氏は慶應大學出の秀才にして昭和元年先代の  
督治氏を襲名し斯業を引繼ぎ、東京淺草橋目貫通りにモダ  
ン高層建物のオフィスを設けその屋上高く三浦セルロイド店  
の文字鮮かに雲表に聳へ同店は茲に専らセルロイド並にラク  
トロイド生地販賣、加工品にありては主として玩具、櫛、雜  
貨等を輸出販賣に努め、益々海外發展に留意され、業績も亦  
好調隆盛を極め、氏の徳望は遺憾なく發揮され、業界の信用  
や比する者なく、業界中堅の紳商として多大の尊敬を受けて  
斯業重鎮の地位にある。

### セルロイド造花製造販賣

大橋 民本 店

大橋 民造

營業所 東京市葛飾區堀切町七八九

並工場 電話本局〇〇四六番

大橋民造氏は大阪市南區清水町出身、幼少の頃より東上、  
父業の小間物花簪商を營み居たるも後、四ツ木にありし千種  
稔セルロイド工場に入り専ら生地部を擔任活躍せられたり。  
歐洲大戰當時網干工場がセルロイドから火藥製造工場へ轉じ  
たる爲め、千種工場にて硝化綿を製造し氏が主としてこれに  
當りて千種氏の爲に盡されたり。

氏は又千種氏人格に感化を受くる事多く、至極眞面目なる  
製造家である。

現在はセルロイド造花を専門に製造して居るが、工場は東  
都有名なる荒川の畔堀切菖蒲園に隣接して住宅と共に作られ  
茲に優秀品の製作と能率増進を主として設備に萬全を期し電  
熱装置のプレス數臺を据へて合理的に進んだ工場である。製  
品の總ては問屋筋の手を経て各國に輸出されて居るが、氏は  
最も人格を重んじ問屋及取引先との提携を確守しその圓滑を  
計る爲め益々信用を多大ならしめ、業績隆々盛んに發展し各  
方面より好評と信望を博して居る。

セルロイド櫛、刷子  
眼鏡、其他加工用型 製造

### 小林賢次工場

營業所 大阪市東成區北生野町一丁目二五

本工場は大正六年設立されたもので、昭和九年夏前工場主小林賢次氏歿後同氏の兄弟一同即ち、小林光行、小林喜太郎、小林辰之助、小林秀の四氏が一致協力して長兄の事業を護り専らセルロイド製品製造用眞鍮型、櫛、刷子、眼鏡、雜貨、容器類を製作して居る。

當工場は製造の設備機械器具完備し、能率よく、爲めに優秀な型を短期間に提供し得らるゝの特長ありて一般加工業界に好評を博して居る。

尙ほ當工場は前記の通り家族的に従事せる爲め製品の出来榮、値段の合理的等將來を嘱望され、大阪セルロイド型の製造家として代表的工場の一つである。

### セルロイド加工用及再製用機械製作専門

川西鐵工所

### 川西早太郎

營業所 大阪市東成區鶴橋南之町三丁目二二六番地



所主川西早太郎氏は大阪市の出身、今を去る二十二年、元三國セルロイド工場の機械製作所たる木村鐵工所に入り、二ヶ年修養、茲にてセルロイド工作機械

に携はり得るの端緒を得。爾來セルロイド櫛を主として一般加工機械、再製機械に精勵し、其の間錫製作機、女櫛製造に關する新案發明あり。この女櫛加工機械によれば齒の峰並が自由自在に調節し得るの特長ありて業界に好評を博して居る氏は元來政治に興味を有し雄辯を以て鳴る。然かし最近は業務に熱中し加工業者の爲めに努力さる。氏の地方に於ける事歴としては鶴橋工業會會長たりし事あり、目下相談役である。櫛工作機械製作所として業歴が古く一般に信用を博して居る。

### ジャパン・イケ・ブラツク洋朱・色素製造所

### 池田化學工業株式會社

社長 池田元太郎

營業所 東京市淀橋區下落合一ノ七一

並工場

電話大塚二九八番



社長池田元太郎氏は大正元年獨逸伯林公立工科大学研究部に於てドクトル、ウイット教授の下に四ヶ年間留學、大正四年歸朝翌大正五年理想的工場地帯なる現在の個所に於て工場建設して獨立開業をなし、始めは主としてジャパン、イケ、ブラツクの染料を製造販賣したるに端を發し各業者の好評を博し今尙盛んに販路自から擴張されて居る。

昭和四年には組織を株式に改め陣容を新にし工場の増築設備を完全にして業績の發展を期せらる。最近氏の發明に依る洋朱の如きは水に不溶、油に溶解し光線に安定なる色素として品質の優秀を誇り得る本邦代表的製品たり。販路は内地は勿論歐米の各國へ盛んに輸出され年額拾萬餘の多きに達して居る。尙又輸出向き玩具の肉色の不變色々素をも製造販賣され業者に益々好評を受けて居る。氏は着色工業界の爲めに幾多の研究を重ね貢獻せらるゝ人格徳望高き化學者で會社と共にその將來を期待されて居る。

セルロイド工業、硝化綿用機械  
セルロイド加工用機械 製作販賣

平山製作所

### 平山慶太

營業所 東京市王子區堀船町一ノ七二八

並工場

電話王子三三一五番

平山氏は本邦セルロイド生地製造界に黎明期を劃したる明治四十四年、彼の堺セルロイド株式會社の創草時より、西田博士並田中敬信氏の下に技師として就任したる人なり。以後大正六年宇都宮氏の東京セルロイド工場志村に創設せらるゝや技師長として招聘を受け一切の製作指導の任に當れり。大正八年大日本社に合併せらるゝに及び退社し、以後各社に顧問又は相談役として従事したりしが翌九年以後機械工業に着眼し、王子町に獨力工場を新設し、直に業務を開始するに至れり。

而してその製作種類は固よりその造詣の深きセルロイド用機械を主とし、その尊き體験と深き造詣の中より自ら工場内の人となり工員を指揮督勵するを以てその製作品の優秀完全なる本邦中全く一人として追隨する者なき非凡の聲價を有し居れり。又氏は人となり恭謙にして内に剛く外に柔にその功績力量を包藏して秋毫も辭色に表さず、多數の尊敬を受け居れり。目下業務極めて盛大なり。

セルロイド、アルミニウム印刷及加工

明 工 舎

明 渡 幸 三

明治十七年七月生

營業所 大阪市東區釣鐘町一丁目

電話 東五七八番



業主明渡幸三氏は和歌山縣海草郡山口村大字平岡の出身、大正十一年來阪、印刷工業に従事、セルロイド印刷は當時未だ日本にはないが氏はその將來あるを看取し、爾來専らセルロイド印刷の研究に従事し、幾多技術上の難關に遭遇したが、之にも屈せず研究をつゞけ遂に大正十三年セルロイド印刷の成功を遂げ、以て今日の隆盛を見るに至つた。

氏は更に附帯事業としてセルロイド加工品に手を染め、又アルミニウム印刷にも研究をなして成功した。

同所はこの事業の發展を期すべく昭和四年實弟政太郎氏を輔佐せしめ、今や其の製品は内地は勿論、海外迄も輸出せられ益々前途有望なる事業となつた。

製品中最も注意に値ひするものは卓上カーレンダ、永年カーレンダ、之等は何れも精巧を極めて居る。

同氏の製品は昭和七年十一月府立貿易館に於て 畏くも天覽の光榮に浴し、同所の將來に對し光明を齎らすもので、蓋し此方面の代表的製作所である。

平版・活版・オフセット・セルロイド印刷

合名會社 寺島印刷所

寺 島 清 則

明治二十四年八月生

營業所 大阪市西區新町北通一丁目

並工場 電話新町二二六二・二二六三番



業主寺島清則氏は福井縣吉田郡の出身、寺島岩次郎氏の長男、二十二歳の時、即ち明治四十五年阿部野小山セルロイド工場の煙草入のセルロイド印刷を引受け直接之を印刷したのが抑々

本業に入つた端緒で、爾來之が研究を進め、大正二年にカーレンダを始め、セルロイド加工印刷をもやり、翌三年には仁丹の看板三萬枚の印刷をなし漸やく斯業に對し自信が出来、時會々大日本社前田實氏の勸奨と激勵を受けて更に研究を進め、大正七年に始めて之を完成し、同十一年二月大阪印刷文化展其他數度展覽會出品し好評を得、次で昭和三年に現任所に店舗と工場を新築せり。昭和七年三月業務の擴張と將來の飛躍を期すべく組織を合名に改め、工場内の設備を充實し、機械九臺を運轉し、益々優良品の製出に努力しつゝあり、即ち現に口繪にある森本氏の洋傘柄のセルロイド模様の様は同所の技術に成るもので精巧を極め好評を博して居る。

氏の公共履歴としては大阪印刷同業組合評議員、同西支部相談役を始め町内會長、西六教育義會常務議員、西六衛生組合評議員、國勢調査委員等に貢献され業界内外に信望殊に厚し。

富士寫眞フィルム株式会社

社 長 淺野 修一 常 務 佐間 政介

本社並工場 神奈川縣足柄上郡南足柄村

電話 關本八・五二・五三番

東京營業所 東京市豊島區雜司ヶ谷町四ノ六二六

電話 牛込六五六一—五番

大阪出張所 大阪市東區南久太郎町二ノ三八

電話 船場四〇三八番

當社は大日本セルロイド會社を親會社として昭和九年一月資本金三百萬圓を以て設立せられたるものにして、本邦に於ける映畫フィルムベースから製品に至る迄、其他寫眞乾板、藥品等を作る嚆矢的代表會社である。

同社がフィルムを市販してから輸入品市價が五割低下し、次第に國産品の使用が多くなり、最早イーストマンやアグファにそう遜色がないやうになつた、目下その産高は年五百萬呎、國內需要の五〇%を供給して居る。

本業は一朝有事の日に顧み、洵にその自給自足は國家的重要な意義ある工業である。

ペーパーコンポジション玩具 輸出販賣

寺 本 商店

寺 本 圭 助

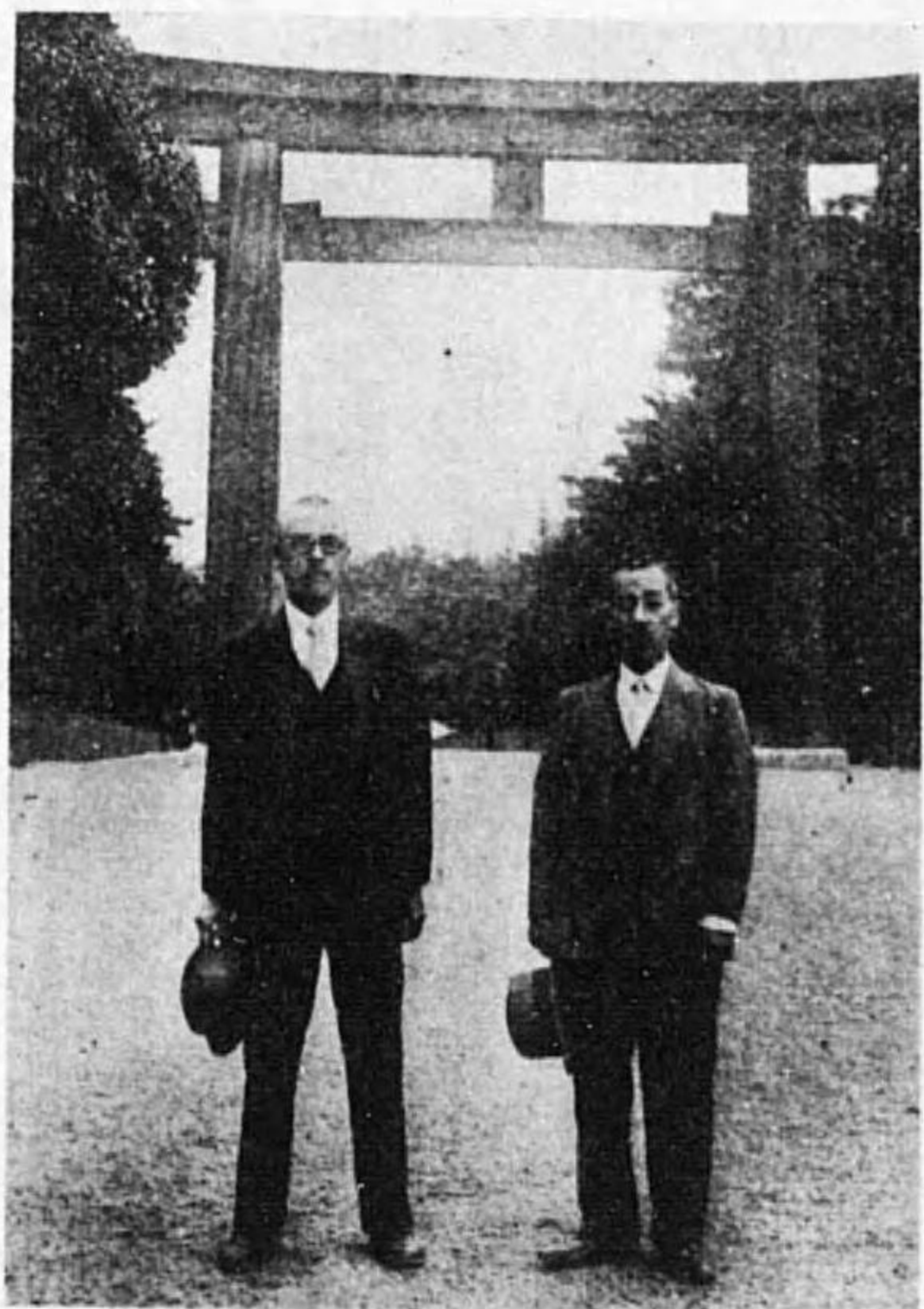
營業所 東京市日本橋區馬喰町三丁目三番地ノ二

電話 浪花三四五四番



東京セルロイド界の元老株たる寺本圭助氏は老來益々嬰鑠業務に努力發展され、淺草橋通り馬喰町にオフイスを構へ、現在はセルロイド材料

を離れた新規製品を作つて居る。即ち新製品ペーパーコンポジションは數種(耐洗淨、耐破壊、丈夫等)に分れて居るが、紙の纖維と、ウッドフローワ及レジン等を主用材として可塑状態にして成型したもので、出来上つたものは非常に立派な工藝的な雅味のあるものであり、人形や犬などが出来て歐米各國方面に歡迎され大量の輸出をして居る。これ等のものは從來の體験で幾多の専屬工場に別れ家内工業として能率をあげ安値に合理的に製造されて居る。この外理化學用機械も盛んに製造され總て之等は輸出商を通じて各國に販賣されるが、氏は將來益々この方面の一新機軸と研究を試み新販路の開拓に國家的多大な貢獻をされて居る第一人者である。



向つて右は前田實先生 左は著者關戸力松  
昭和十年十月八日 東京 明治神宮鳥居前にて撮影

日本セルロイド時報社

關 戸 力 松

明治十五年九月廿七日生

(登美山莊外史)

著者は石川縣能美郡小松町の所産、其の祖先は同郡金平村(鑛山のある處)の出と思はる、屋號を金平屋と稱す、傳説には平家一族殘黨が茲に隱遁した後裔と云はる。先代は釘製造を業としたが文化の發達につれ洋釘の出現は自然失業を來し茲にミスボラしき生活を遂ぐるの餘義なきに至る。  
されば著者はこの間に生をうけ幼少の頃、家資豊かならず僅かに郷里の尋常小學校を畢へたのみで早くも二、三の店に轉々奉公したが、明治二十年京都勸業博覽會のありたる翌

年頃、師走の寒空、鵬志を抱いて單身郷關を出で京洛の衢に來り勞働の傍ら苦學を試みたが成らず、臺灣始め諸方就職の後、再び京都に來り大藏經八千卷の校正に従事したのが縁となりて佛敎を少しく研究する處あり。後東京に出で晝間活版業の傍松本君平氏の學塾に就いて國際公法、私法、經濟學、經濟學史、政治學、史學等に就いて少しく修學するところあつたが、學半にして同塾の閉鎖に逢ひ雄圖空しく挫屈に歸した。其後磯邊の英學塾、齋藤の文法的英法に私淑したのが後來の英學基礎となつた。

大正三年歐洲戰爭の勃發前、東都に於ける妻子を離別し、單身阪地に來り、諸種刊行物に携はる所あり、大正七年頃大阪セルロイド同業組合に勤務したのが抑々本業にタッチした第一歩である。

大正十年同組合を辭し、日本セルロイド時報社を經營し、兩來専らセルロイド並に一般類似可塑物の何であるか及び業界の進むべきコースを雄健簡潔なる筆致を以て報道論評して今日に至る。其間著述らしきものは

セルロイド加工法 (再版) 發明考案集

纖維素溶劑、可塑劑に就て (絶版)

セルロイド並に類似物の世界需給觀』あり。

大正十五年八月江間氏の門を叩き行道を修し後年大に資するところあり。

平素和漢洋書を愛し、酒煙草をやめてから趣味として

考古學(古瓦始め古出土物若干蒐集)並史前學(未刊譯本あり)

分類植物學並藥草學(贍葉千餘あり)

古美術工藝一般

著者は妻との間に一女あり今年女學校を卒へたばかり輓近専ら獨逸學に興味をもち將來は益々可塑物一般に關しジャナリズムとカルチュアを兼ねて餘生を之に捧げたいと思つて居る

腕環、櫛、頭飾品、  
パイプ、容器等專門取扱

安 部 唯 一

明治二十二年八月生

營業所 大阪市南區松屋町五十六番地

電話東五一六七

業主安部唯一氏は香川縣大川郡長尾町の出身、明治四十一年頃來阪、東區南久太郎町一丁目セルロイド雜貨輸出商小山定號に入店、製品輸出係を擔當し斯業修得、大正十二年十月現在の處に獨立開業、輸已向加工品の販賣に力を注ぎ各方面に大に發展せらる。

同所製品は、大正十三年十月内國製産博覽會、昭和三年十月阪神大博覽會其他數回に亘り表彰さる。最近は支那、南洋濠洲、亞弗利加、印度方面へ輸出せられ、業界中堅の人なり氏は櫛工業組合の理事、腕環工業組合の監事、同業組合代議員なり。

腕環、櫛、頭飾品  
パイプ、容器 專門取扱

安部唯一商店

大阪市南區松屋町五六

電話東五一六七番





# PROTEN

Non-inflammable Celluloid

The most superior quality of Casein material  
Used for : Button, Buckle, Fountain-pen,  
Sharp-pencil, Pen-holder and Other fine articles.

**NIPPON PROTEIN MFG. CO., LTD.**

OFFICE. TOSABORI-DORI 1-CHOME NISHI-KU, OSAKA, NIPPON.

DAIDO SEIMEI BUILDING

PHONE. TOSABORI NO. 174

FACTORY. KUISE NEAR AMAGASAKI-SHI HYOGO-KEN

PHONE. AMAGASAKI NO. 1155

燃えないセルロイド  
ラクトカゼイン角質物界の  
最優秀品

## プロテン

釘、バツクル  
万年筆  
シャープペンシル  
軸  
ベ  
ン  
軸  
其他美術工藝品  
材料生地  
製造

## 日本プロテイン工業株式會社

本社 大阪市西區土佐堀一大同ビル七階  
電話土佐堀一七四番  
工場 兵庫縣尼崎市外杭瀬  
電話尼崎一一五五番

昭和十年十月二十五日印刷  
昭和十年十一月一日發行

### 不許複製

定價 金五圓

發行兼編輯人 奈良縣生駒郡富雄村三碓七一  
關 戸 力 松

印刷人 大阪府南區鯉谷仲之町三九  
岡 本 省 三

印刷所 大阪府南區鯉谷仲之町三九  
株式會社 中村盛文堂

發行所

奈良縣生駒郡富雄村三碓七一

日本セルロイド時報社

振替大阪六七三三二番

# 欠

NITRO CELLULOSE FOR  
PYROXYLINE LACQUER

大日本セルロイド株式会社製

## 塗料用硝化綿

品質優秀  
溶解可良  
粘度一定

品 種

20 秒	1/2 E 秒	1/4 秒	40 秒	15 秒	1/2 秒
粘 度	粘 度	粘 度	粘 度	粘 度	粘 度

粘度測定 米國ハークレス・メソード

日本總代理店 株式會社 長瀬商店藥品部

大阪市西區立賣堀南通一丁目七  
電話新町(四一・四二・一七二〇・一七三一)  
二九三三・二九三四・二九三五  
支店 東京市日本橋區小舟町二ノ三

# 欠

## 平山のセロロール機械

廿五ヶ年

設計製作經驗

製生地並ニ玩具雜貨、  
 平造用各種  
 壓搾削  
 加熱板  
 捏和機  
 押出機  
 バイフ棒壓出機  
 艶付機  
 口斷機  
 截斷機  
 硝化綿製造機  
 原紙細斷機  
 洗除酸機  
 其他附屬各機械

製石・一ザレ 工業用各種化學機械

工場創立 大正十年  
 從業員 八十名  
 製造能力 五十萬圓  
 所主 平山慶太

## 平山製作所

製作工場 東京市王子區堀船町一ノ七二八  
 電話王子三、三一三番  
 鑄造工場 川口市本町一ノ三四〇六  
 倉庫 東京市王子區堀船町一ノ九二六  
 自宅 東京市王子區堀船町一ノ七二六



所主 平山 慶太

最モ深い経験ト最モ新シイ獨創ニ  
因リ常ニ皆様ニ安價デ能率ノヨイ  
機械ヲ御獎メ致シテ居リマス

『セルロイド機械専門  
製作工場』



セルロイド用酒精可溶性染料

シヤパンイケブラツクBエキストラ(青口黒)  
シヤパンイケブラツクBDD (黒)

セルロイド用肌色不變色々素

パーマネントピンク (人形生地)

油解染料

本品は酒精にも可溶性なるが故にセルロイド  
用に適當す

- オイルレッドコンク
- オイルオレンジコンク
- オイルエローコンク
- オイルグリーンコンク
- オイルブラウンコンク
- オイルブラックコンク

- 赤
- 橙
- 黄
- 緑
- 茶
- 黒

不變色々素

本色素は水、酒精、油等に不溶性にして日光に絶大なる耐  
久力を有し酸、アルカリ其他諸種の化学作用に對し不變な  
り、品質は獨逸品に比し遜色なき國産新製品にしてセルロ  
イド、プラスチック、ゴム、ラッカー塗料、レザー製造  
等の着色工業方面に好適す。

- パーマネント屬 各色
- イケダファスト屬 各色

右は何れも最濃厚、濃厚、普通品の三種あり。  
イケダファスト屬は殊に日光に對し最堅牢なり。

東京市淀橋區下落合一丁目七一

池田化學工業株式會社

電話 大塚 ⑧ 二九八番  
受信略號 (トウケイオチア)  
振替貯金口座東京一〇八三六番



セルロイド製品  
ペーパー・  
コンポジション玩具

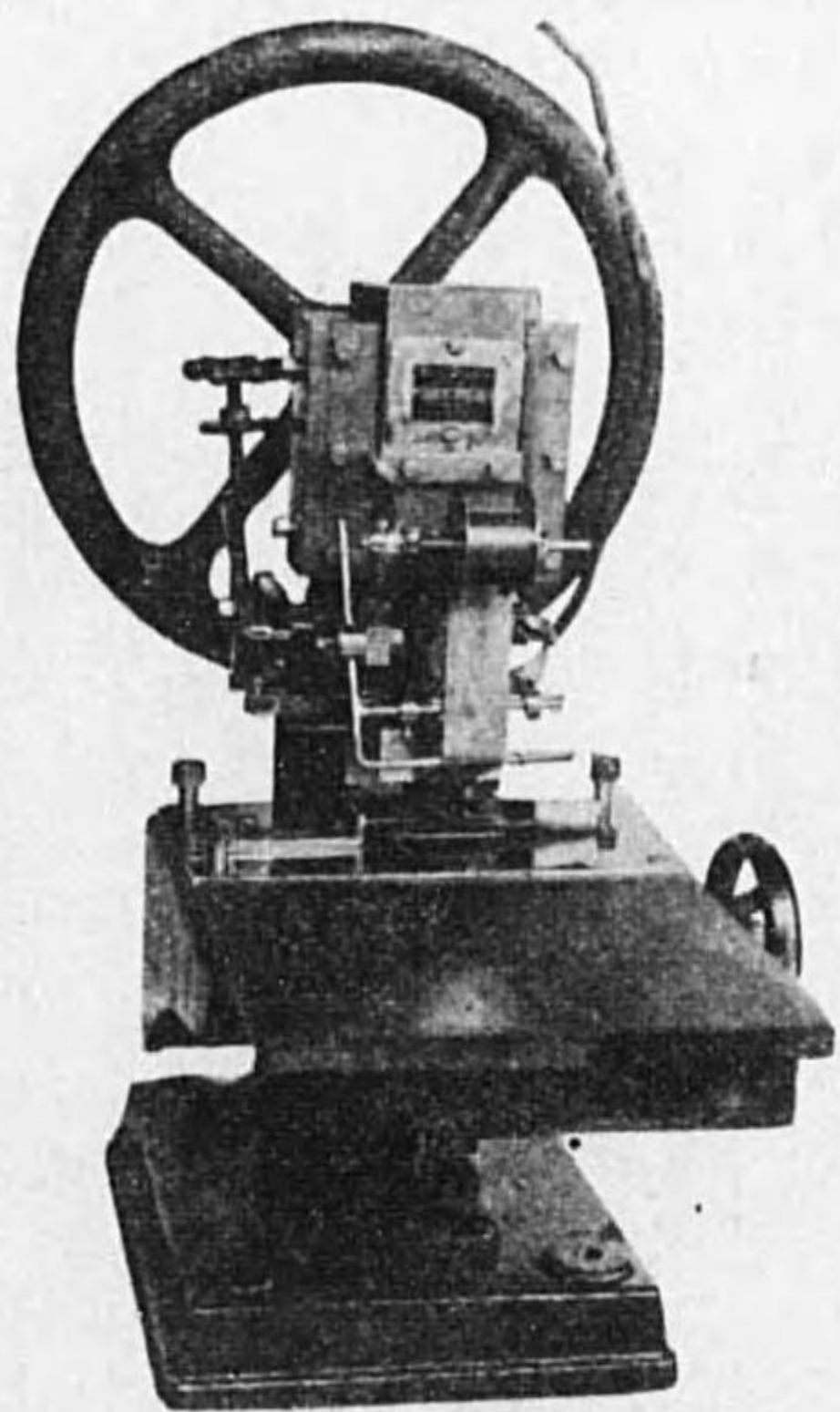
東京市日本橋區馬喰町三丁目

合資  
會社 寺本商店

寺本圭助

電話浪花⑦三四五四番  
振替東京一九六六四番

新形金箔刻印打機  
セルロイド臺絞機械絞  
毛切機械磨布ボルト  
生地截機械（手押用）  
横櫛齒切機械  
並ニ諸機械修繕



English Catalogue free on Application

各種齒刷子機械製作専門

かじ鶴事 浪花鐵工所

大阪市東成區鶴橋北之町三丁目一九三  
振替大阪六九〇四六番

セルロイド  
齒刷子  
並ニ  
ハンド  
ル

大阪市東成區中川町九番地ノ一



上野介稔

「舊名」

寅吉

電話天王寺(77)二六三九番

製品造製

沈降製硫酸バリウム  
ホ降製硫酸バリウム  
微粉バライト各種  
合成蟻酸及各種  
特許接着劑菱光クリユ  
過酸 化水 各種  
礮劑スーパライト  
拔染劑スーパライト  
ヘキサメチレンテトラミン  
ハラホルムアルデヒド



商標

登録

合資  
會社 江戸川工業所

本店及東京工場  
東京市葛飾區新宿町五丁目二九〇〇  
電話新宿二四一四五番  
電話墨田七四三八五番  
振替東京七四一四八番

小松川分工場  
東京市江戸川區一之江町二〇三八  
電話小松川一七二番  
大阪工場  
大阪府豐能郡庄内村菰江  
電話三國一番・大阪北三二四六番  
神奈川縣足柄上郡北町岸九五〇番  
電話山北二二六番

# 品製と地素

各種セルロイド素地卸商



光線除眼鏡カバー。  
防塵眼鏡。  
線除。

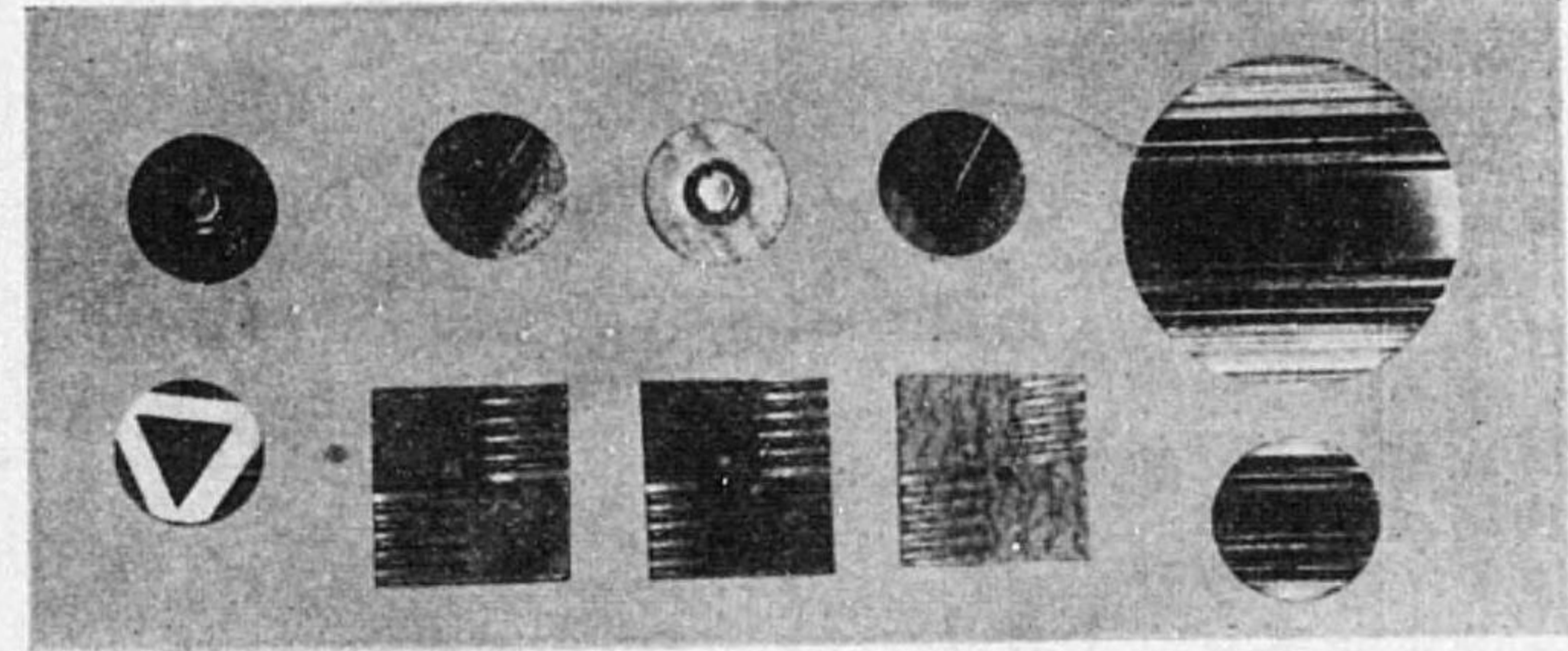
ピンポンボール。  
時計バンド。  
衛生マクス。

## 店ドリルセ谷紙

地番九十目丁二町ノ北橋小東區成東市阪大

番六二二三<sup>㊞</sup>南話電

番四〇〇一四阪大座口替振



ラクトロイド釦  
アイヴオリナツト釦  
婦人子供服美術釦

藤井釦工業所

堺市向陽町貳百六拾貳番地  
電話(堺)三〇四一番

石版印刷  
オフセット印刷  
活版印刷  
セルロイド印刷

合名  
会社

# 寺島印刷所

大阪市西區新町北通一丁目

電話新町 二二二六三番  
振替大阪 三二五四番

高級セルロイド印刷

# 明 互 舎

大阪市東區釣鐘町一丁目

電話東(94)五七八番

新ダイヤ  
並ダイヤ  
ビーズ

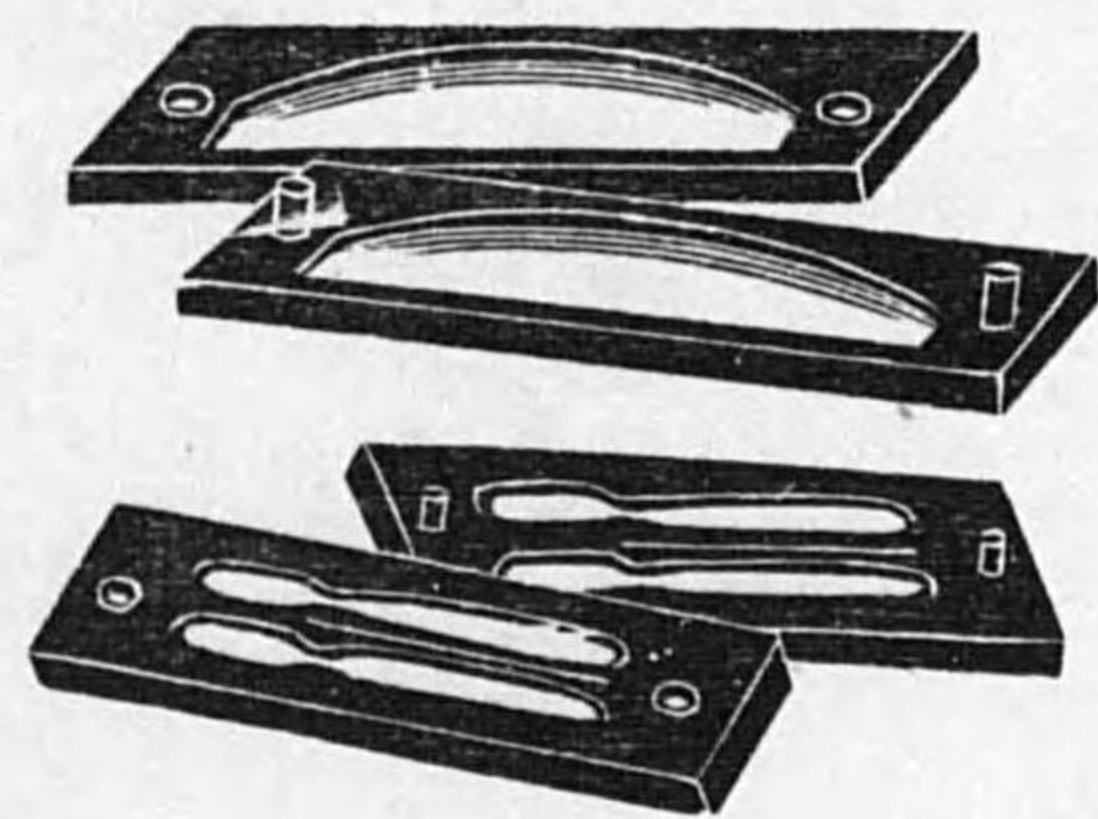


大阪市東區南久寶寺町二丁目  
直輸入元  
**田淵商店**

電話船場・八貳參番

**型**

セルロイド櫛刷子型  
其他加工用型製造



小林賢次工場

大阪市東成區  
北生野町一丁目二五

セルロイド加工用  
薄物容器型並機械

西井鐵工所

大阪市天王寺區勝山通一丁目五六  
電話天王寺二一二九番



## 大阪セルロイド同業組合

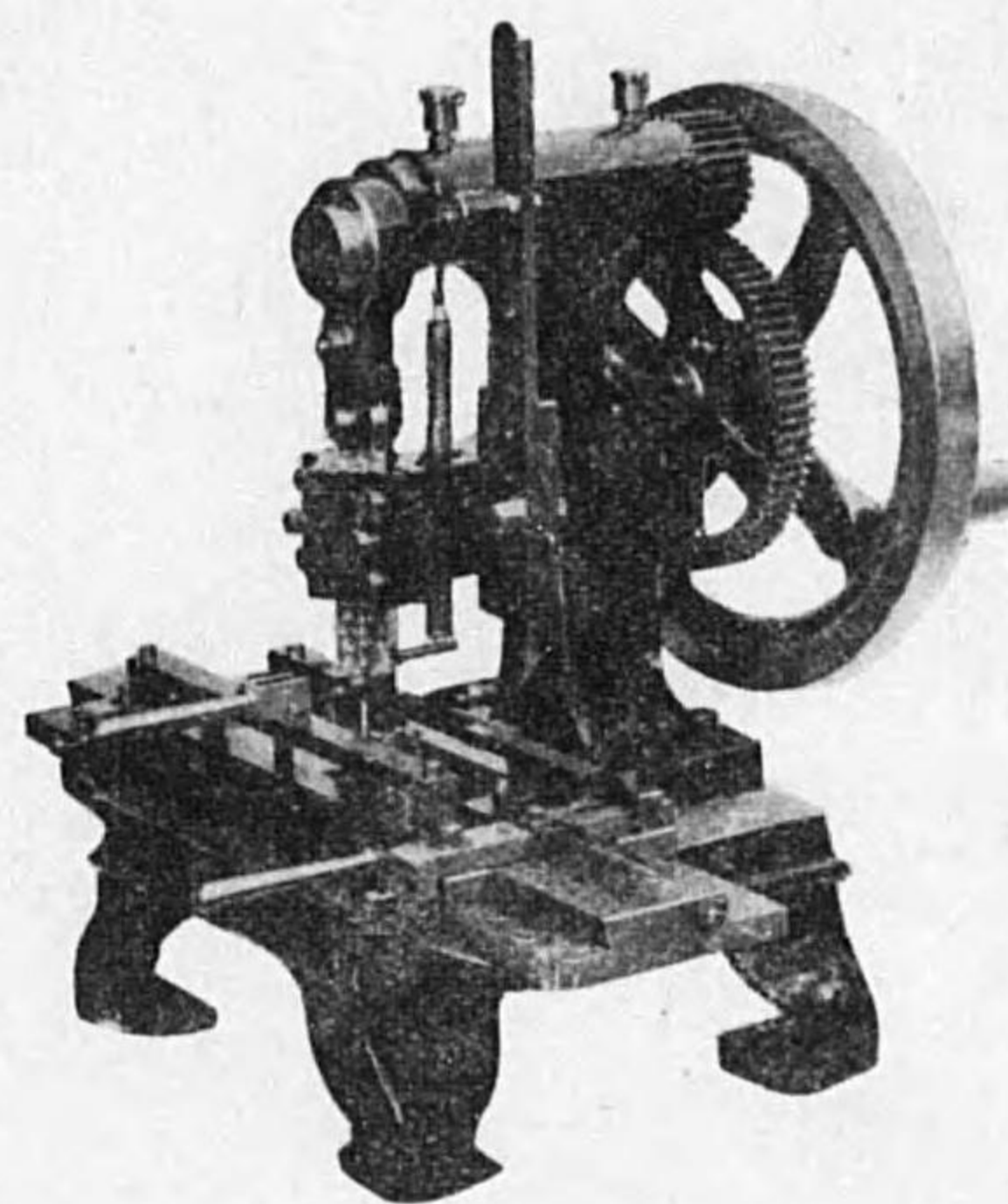
組長 小山勝之助  
 副組長 奥村八五郎  
 書記長 佃 一 二

大阪市東成區大今里町六五五  
 電話南四七〇番

## The Osaka Celluloid Mfrs. Association

655, Oimazato-cho, Higashinariku,  
 OSAKA, JAPAN.  
 Established in 1914

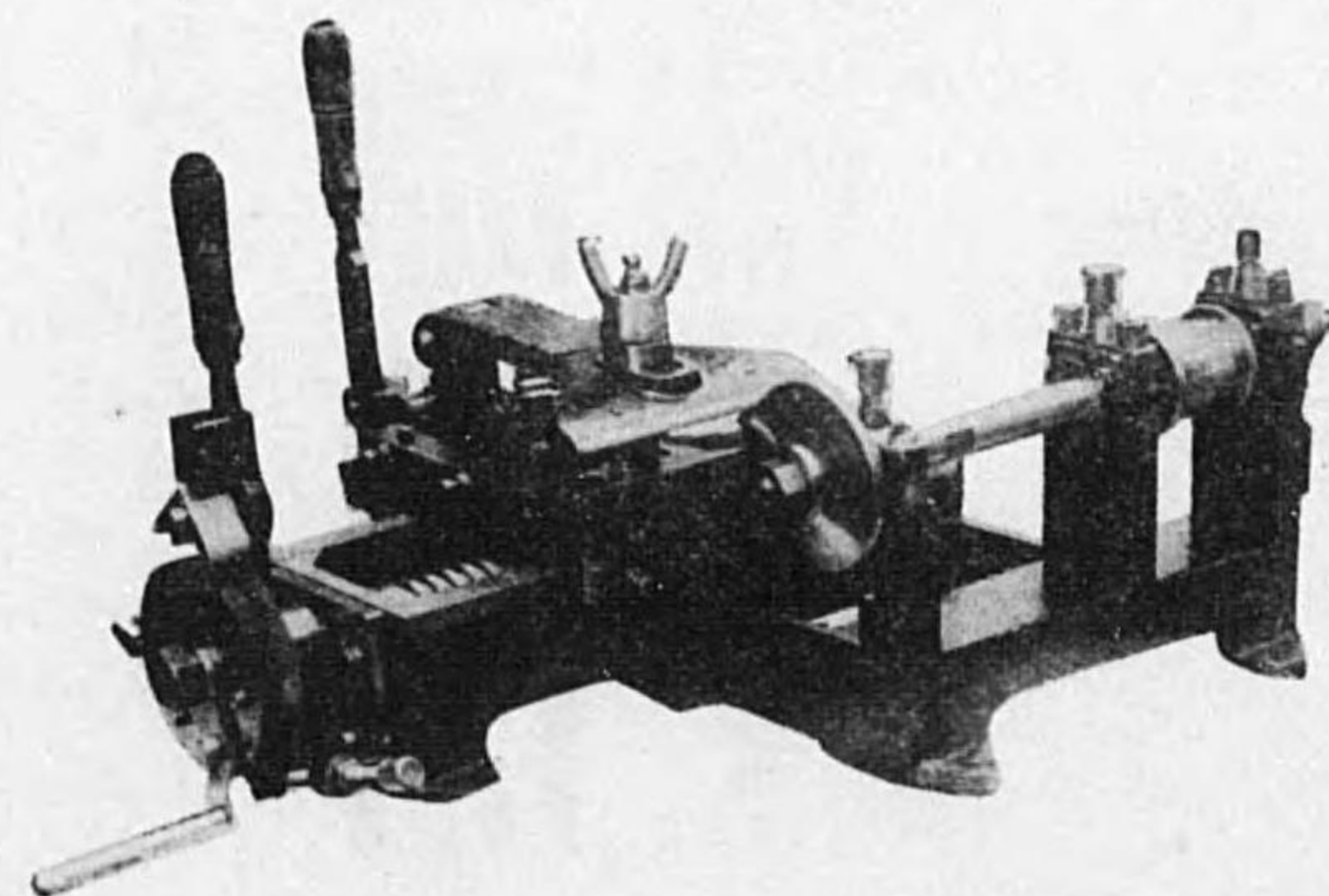
*President* : .....K. Koyama  
*Vice President* : .....H. OKUMURA  
*Chief Secretary* : .....I. TSUKUDA



セルロイド櫛加工用機械  
 其他一般加工用諸機械  
 セルロイド再製機械  
 セルロイド機械製作専門

## 川西鐵工所

大阪市東成區鶴橋南之町三丁目二二六



大阪市東成區大今里町六五五

**日本輸出セルロイド櫛工業組合**

電話南(75)九四六番・六八六〇番  
振貯口座大阪二四二二四番

大阪市東成區大今里町六六五

**日本セルロイド腕環工業組合**

電話南三四七番

大阪市東成區猪飼野大通三丁目九番地

**大阪輸出セルロイド玩具容器工業組合**

電話南九九六番

大阪市天王寺區筆ヶ崎町卅一番地

**大阪セルロイド生地工業組合**

電話天王寺五三七一番

大阪市東成區猪飼野大通三丁目九  
電話 南 九 九 六 番

### 大阪セルロイド生地卸商業組合

倉庫所在地 大阪府中河内郡西郡村六九〇  
電話 小 阪 二 七 六 番

### 大阪セルロイド再製生地工業組合

大阪市東成區大今里町七六五番地  
電話 南 三 〇 三 五 番

大阪市東成區大今里町 六五五 (電話南四七〇番)

### 大阪防火安全會

會長 平 山 建 治  
副會長 益 田 多 一 郎  
事務長 大 森 義 男

大阪市東成區大今里町 六五五 (電話南四七〇番)

### 工場防護團

### 大阪防火安全會支部

支部長 平 山 建 治  
副支部長 益 田 多 一 郎  
幹事 大 森 美 男

ZELLULOSEAZETATE u. DIE ANDERN  
ORGANISCHEN ESTER ZELLULOSE

Von Dr.-Ing. D. Kruger

Verlag von Theodor Steinkopff, Dresden

醋酸纖維素 並 其他の有機纖維素エステル

著者は伯林ダーレムに於ける國立物理化學研究所の教授で、この方面の權威である。

ドクトル、インヂニヤ・ド・クルゲル著

三十一圖 三十七ケの表 三百五十頁  
定價 並製 廿二圓。上製 廿三圓也

内 容 目 次

第一章	纖維素の構造、製法 及性質一般に就て	利用
第二章	醋酸纖維素	人絹  可塑物(セルロイド)  ド ブ  フィルム  安全ガラス  ワイ ヤガラス、其他の應用
第三章	醋酸纖維素の製法	第六章
第四章	醋酸纖維素の研究	醋酸纖維素混合エス テル
第五章	醋酸纖維素の工業的	第七章
日本取次所	奈良縣生駒郡富雄驛南 振替大阪六七參貳番	有機酸の混じたる醋 酸纖維素エステル
日本セルロイド時報社圖書部		

ロイヒトール  
特許合成樹脂各種製品

アルコール、植物油、礦物油溶性樹脂  
塗料用原料品  
耐酸、耐油、耐アルカリ塗料  
電機絶縁塗料、ライニング用塗料  
クラッチフェーシング用塗料  
セメント(金屬硝子用)  
タニニン(皮 鞣 劑)  
ゴム老 化 防 止 劑  
特種塗料品  
積層品、可塑品  
成型材料、成型品  
電機用、其他工務用品  
可塑物原料品

日本レジン工業株式会社

本社 大阪市東淀川区三津屋北通一丁目三七 電話北三九九〇番  
出張所 東京市日本橋區小舟町一丁目七 電話茅場町四六二五番

セルロイド各種  
履物用ゴム各種  
セルロイド代用塗料  
レバー履一手發賣元

各種卸商

由奥田由商店

大阪市南區御藏跡町二二  
電話戎四七七七番  
振替大阪七七二四一番

## "Nitrocellulose"

購讀料一ケ年 廿六圓也

獨文で書かれた専門雑誌「硝化綿工業誌」である。内容はセルロイド、爆發薬、擬革等の技術上及商業上の事を報道する機關誌。

關心あるものに見本は無料送付に應ず。

Publishers: Wilhelm Pansegrau

Berlin-Wilmersdorf, Barstrasse 28

日本取次所 奈良縣 富雄驛南 日本セルロイド時報社圖書部

## "Plastische Massen"

購讀料一ケ年 十七圓(送料共)

可塑物工業に關する科學並に技術に關する研究報道誌。獨逸全壓縮物工業並に電機業者の機關誌。壓縮、射鑄材料並に人造物質應用に關する唯一技術雜誌也。

Verlag Physik G. m. b. H.,

Berlin-Dahlem, Archivstrasse 3 Deutschland

日本取次所 奈良縣 富雄驛南 日本セルロイド時報社圖書部

## "British Plastics

MOULDED PRODUCTS TRADER"

購讀料 一ケ年 十三圓 (郵稅共)

世界的に廣く讀まれて居る『英國可塑物工業雜誌』は斯界の權威であり、歐洲大陸に於ける業界唯一の英語機關誌也。

"BRITISH PLASTICS YEAR BOOK" 1935

『英國可塑物工業年鑑』—— 一九三五年版

一冊 十三圓也 (郵稅別)

## "SYNTHETIC and APPLIED FINISHES"

購讀料一ケ年 十三圓也 (送料共)

『英國可塑物誌』の姉妹誌にして最近發展せる合成塗料工業に關する工業技術の事を報ぜる唯一英語機關誌也。

見本入用の方は申込により送らる

PLASTICS PRESS, Ltd.

19-23, Ludgate Hill, LONDON, E C 4: ENGLAND

日本取次所 奈良縣生駒郡富雄驛南 日本セルロイド時報社

## "Kunststoffe"

Publisher J. F. Lehmann, Munchen

本誌は可塑物工業雑誌として  
世界最古のもので最も權威あ  
る専門誌、左の關係部門が收  
録されてある。

醋酸纖維素。フィルム。合成樹脂（ペ  
ークライト。尿素樹脂等）。擬革、ラッ  
ク。絶縁材料。纖維素物質。セルロイ  
ド等の製造及利用に關する技術的論文  
記述並經濟記事。

購讀料 一ケ年 二十六圓也  
四分ノ一年 六圓五十錢

日本取次所

大和生駒郡  
富雄驛南

日本セルロイド時報社

## Handbuch der Azetylzellulosen

Oberregierungsrat Dr. O. Kausch. Berlin :

### —醋酸纖維素製造法—

定價 並製廿二圓也 上製廿四圓也

本書はクンストstoff雑誌寄稿者にして可塑物工業の權威たる著者が、醋酸纖維素の製造、性質並其の利用を詳述せるもの、此種工業家にとっては非常に有益なる参考書である。

J. F. Lehmanns Verlag, Munchen, 2 S W

日本取次所 奈良縣生駒郡 富雄驛南 日本セルロイド時報社圖書部

## "MODERN PLASTICS"

購讀料 一ケ年 廿一圓也 (送料共)

米國唯一可塑物工業界の權威。新世界に於ける可塑物製品の發展と其の應用が挿圖入にて詳細に面白く報ぜらる。

BRESKIN & CHARLTON PUBLISHING CORP.

425 FOURTH AVENUE, NEW YORK, N. Y. U. S. A.

日本取次所 奈良縣富雄驛南 日本セルロイド時報社圖書部

## "Industrial FINISHING"

一ケ年 郵税共 十二圓也

毎月十五日發行 菊半截型

合成塗料・塗裝仕上に關する研究誌

PRACTICAL PUBLICATIONS, Inc.

222 East Ohio St., Indianapolis, Ind. U. S. A.

日本取次所 奈良縣富雄驛南 日本セルロイド時報社圖書部

Handbuch der Kunstlichen Plastischen Massen

Von Ob.-Reg.-Rat Dr. O. Kausch

# 人造物質のハンドブック

並製 二十圓 上製 廿四圓

人造可塑物の製造、性質並に工業用途に關する利用方法を詳述せるもの。約二千三百の特許抄録が収録されてある。

J. F. Lehmanns Verlag, Munchen, 2 S W

日本販賣所 奈良縣生駒郡南富雄 日本セルロイド時報社圖書部

## 内容目次

- 第一章 蛋白質からの可塑性物質
  - 第二章 ヘフェーからの可塑性物質
  - 第三章 角質含有物からの可塑性物質
  - 第四章 植物性硬材からの可塑性物質
  - 第五章 濃粉からの可塑性物質
  - 第六章 天然樹脂並蠟からの可塑性物質
  - 第七章 脂肪炭水化物からの可塑性物質
  - 第八章 レザー層からの可塑性物質
  - 第九章 動物性尿からの可塑性物質
  - 第十章 タール、アスハルト、ピッチからの可塑性物質
  - 第十一章 纖維素及び其の化合物からの可塑性物質
  - 第十二章 有機化合物の重合による可塑性物質
  - 第十三章 有機化合物の凝固による可塑性物質
  - 第十四章 其他の化合物からの可塑性物質
  - 文獻 商品名學術名目録、特許、件名表
  - 體裁 菊版 三百六十頁
- カセイン角質物は第一章に、セルロイド、醋酸セルロイド等は第十一章に、スチロール、ウイニール重合物等は第十二章に、石炭酸樹脂、尿素樹脂等は第十三章に詳説さる。

Herstellung und Verarbeitung von

# Kunstharz Pressmassen

Von Kurt Brandenburger  
J. F. Lehmanns Verlag, Munchen 2 S W

## 人造樹脂壓縮材料の製造並ニ成型法

— 實 習 書 —

### 第一卷 (一冊)

プレス技術篇 (百十八頁)

定價 上製 十一圓也

第一章 各種壓搾法

第二章 壓縮物の豫備成型法

第三章 特殊壓縮法

第四章 壓縮補助劑

第五章 型に對する加熱法

第六章 一般壓縮法

第七章 應用の範圍

### 第二卷 (一冊)

プレス及プレス方法篇 (百五十二頁)

定價 上製 十三圓也

第一章 各種プレス方法

第二章 人造樹脂プレス設計の標準

第三章 特殊樹脂プレス

第四章 補助工作具

第五章 プレスの構造組織

第六章 プレス部分品

第七章 注意に値するプレス部分品

日本販賣所 日本セルロイド時報社洋書部

奈良縣生駒郡南富雄

## 合成樹脂工作機械型一式

獨逸國チュリングン・トリプテイス

グラブネル商會

Grabner & Co.,

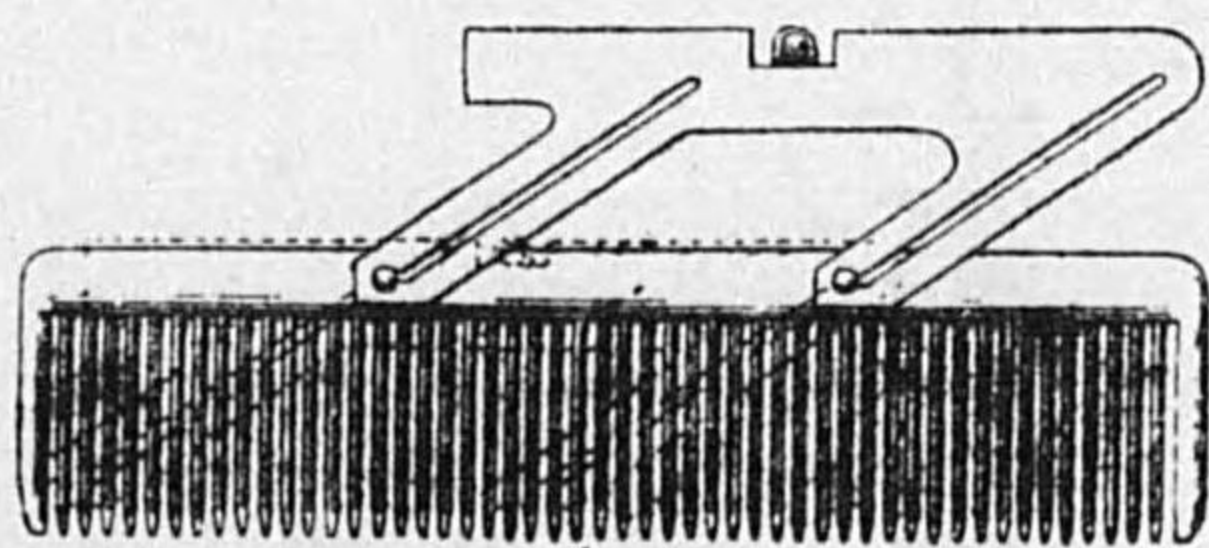
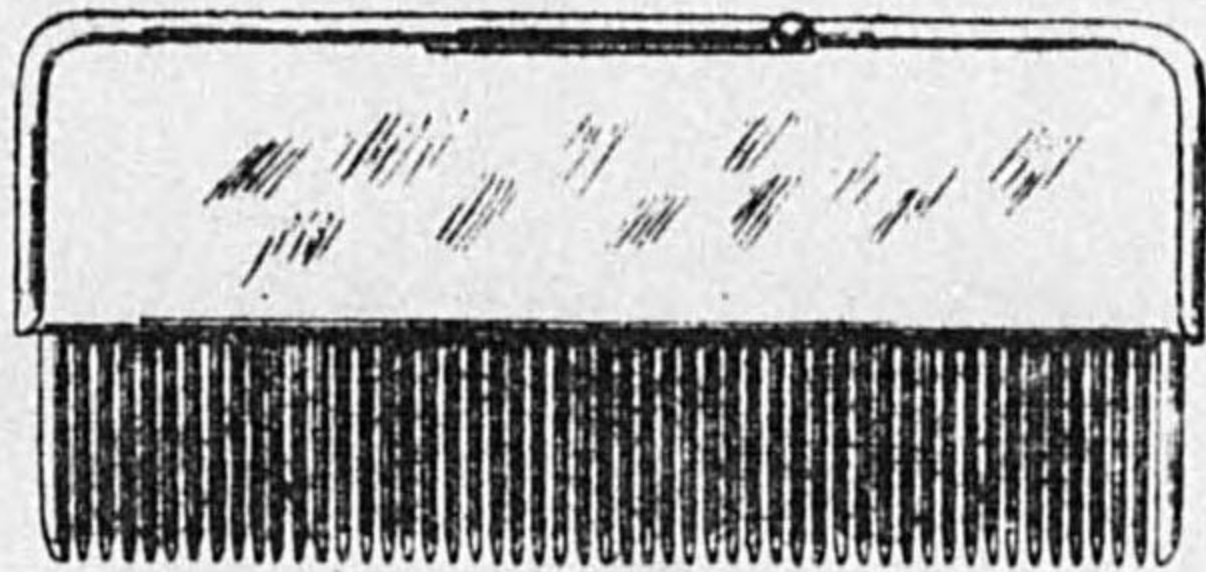
Werkzeug-und Maschinenfabrik

Triptis (Thuringen)

詳細は日本セルロイド時報社に就て承合あれ

理想の携帶櫛發賣

工櫛業組合登録第一五八號  
實用新案出願



分解圖

上の圖のツチリを左右に動かし  
かす櫛の齒が自由に出入るに  
致しませぬ

**理想的ノ携帶櫛**

皆様が唯今まで御使用になつて居られた種類の携帶櫛の如何なる品よりも絶體優秀なモダンで、スマート、然かも實用に適した現代向きの本品が弊工場多年努力苦心研究の結果出来上り此度發賣致す事に相成りました。

百聞は一見に如かずとか是非御使用の上御批判を賜り度く御願ひ致します。

**三大特長**

従來の品と相違致し全部金屬製品にて外廓を圍つて有りますから服のポケット、ハンドバック等の中に御入れなつて他の品物と接しても折れたり、齒こぼれ等の心配は絶対にありません。

圖解に示す通り全部取はず自由に充分に出来ませぬ。御使用中に御頭髪の中に有るフケ、ホコリ等の汚物は全部金屬の中に吸取り絶對に頭髪に附着せず氣持よく御使用して戴く事が出来ます。頭髪も常に美しく愉快で御座います。

合資會社  
丸二セロイド工業所

大阪東區片江町四六八  
電話天王寺二四〇番

KUNSTSTOFFE von Prof. Dr. J. Scheiber

獨文『人造物質の概念』  
工學博士・シユライヘル教授著

●定價 八圓也

緒言 一般可塑性に就て

A、高分子天産物からの人造物質

一、彈性ゴム系のもの

二、セルロース系のもの

a、植物性ファイバー

b、セロファン等

c、セルロイド等

d、人絹

e、樹脂

f、セルロース結合劑による可塑性物

三、カゼイン蛋白質の人造物質

B、低分子原料からの人造物質

a、セルロイド様の合成物質

b、琥珀或は象牙様の合成物質

一、石炭酸系可塑性物

二、アミノ系可塑性物

三、グリフター

發行所 獨逸ライプツヒ市  
アカデミック協會  
日本販賣所 日本セルロイド時報社圖書部  
奈良縣生駒郡富雄驛南

Technologie der Weichmachungsmittel

von Walter M. Munzinger

J. F. Lehmanns Verlag, Munchen, 2 S W

『可塑劑化學』

體裁 菊版型 一二〇頁 三十圖入  
定價 並製 六圓 クロス綴 七圓

●定價 八圓也

內容目次

- 一、可塑劑の目的
- 二、可塑劑に就ての一般論
- 三、可塑劑の特質
- 四、可塑劑の纖維素エステルに對する影響
- 五、光線の可塑性纖維素エステルフィルムに對する影響
- 六、特許抄録 人名並藥劑件名索引表

日本取次所 日本セルロイド時報社圖書部  
奈良縣生駒郡富雄驛南





- 一、刷子類各種
- 一、アイデアアルカラー、カフス
- 一、新案特許高級アイデアアルカラー
- 一、新案特許自轉車チェーンケース
- 一、雜貨容器一式
- 一、ピンポンボール
- 一、新案特許高級セルロイド印刷

大阪市東淀川區十八條町

## 三國セルロイド株式會社

電話 北三八三八番  
三國二三三番

東京出張所

東京市日本橋區村松町一四  
電話浪花<sup>㊟</sup>七二二番

## 富士寫眞フィルム株式會社

本社 神奈川縣足柄上郡南足柄村  
電話關本八番・五二番・五三番

足柄工場

東京營業所 東京市豊島區雜司ヶ谷町四ノ六二六  
電話牛込<sup>㊟</sup>六五六一―五番

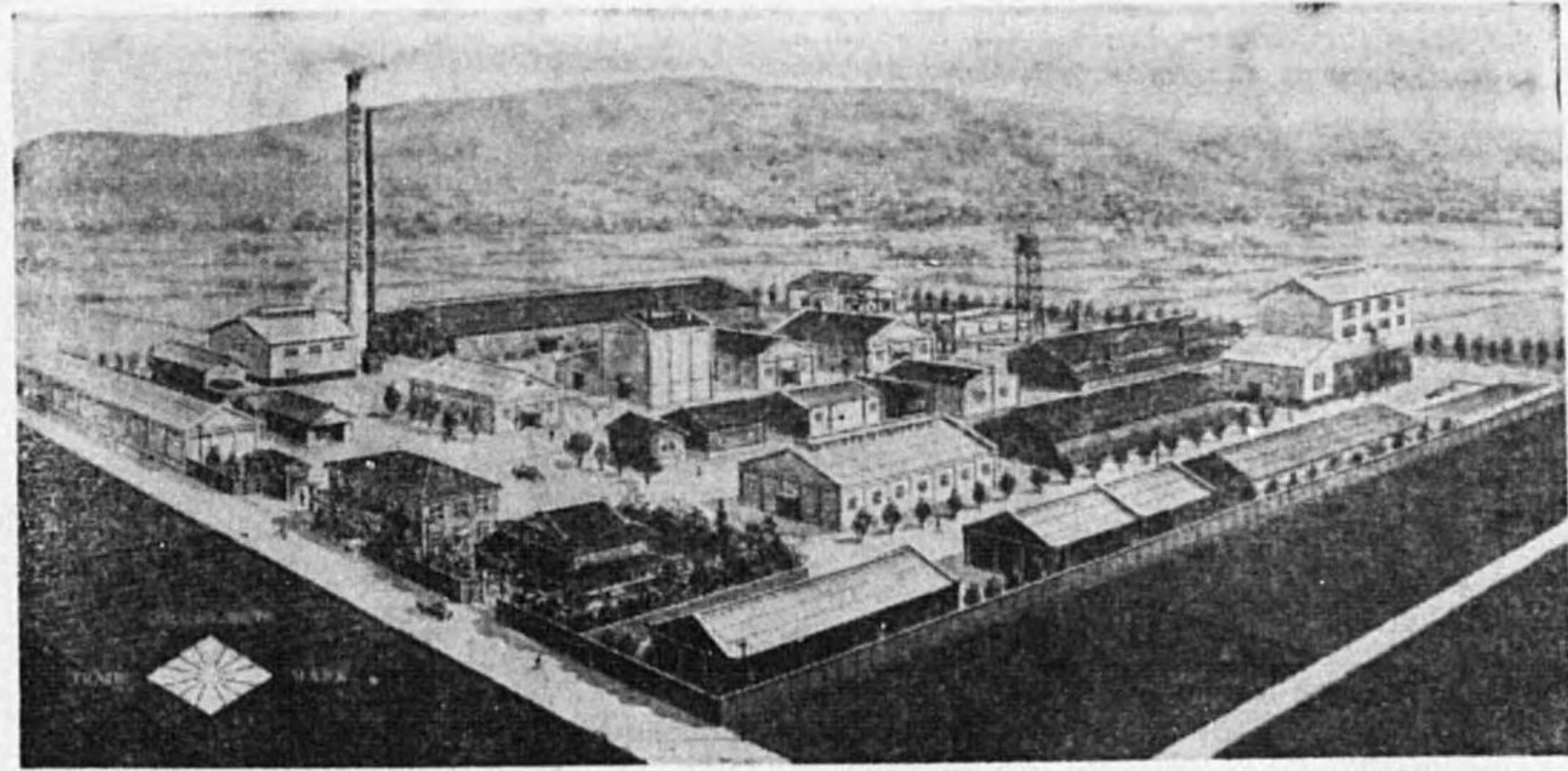
雜司ヶ谷工場

大阪出張所

大阪市東區南久太郎町二ノ三八  
電話船場四〇三八番

富士フィルム  
研究所

東京市板橋區練馬向山町一五五四  
電話練馬一〇七番

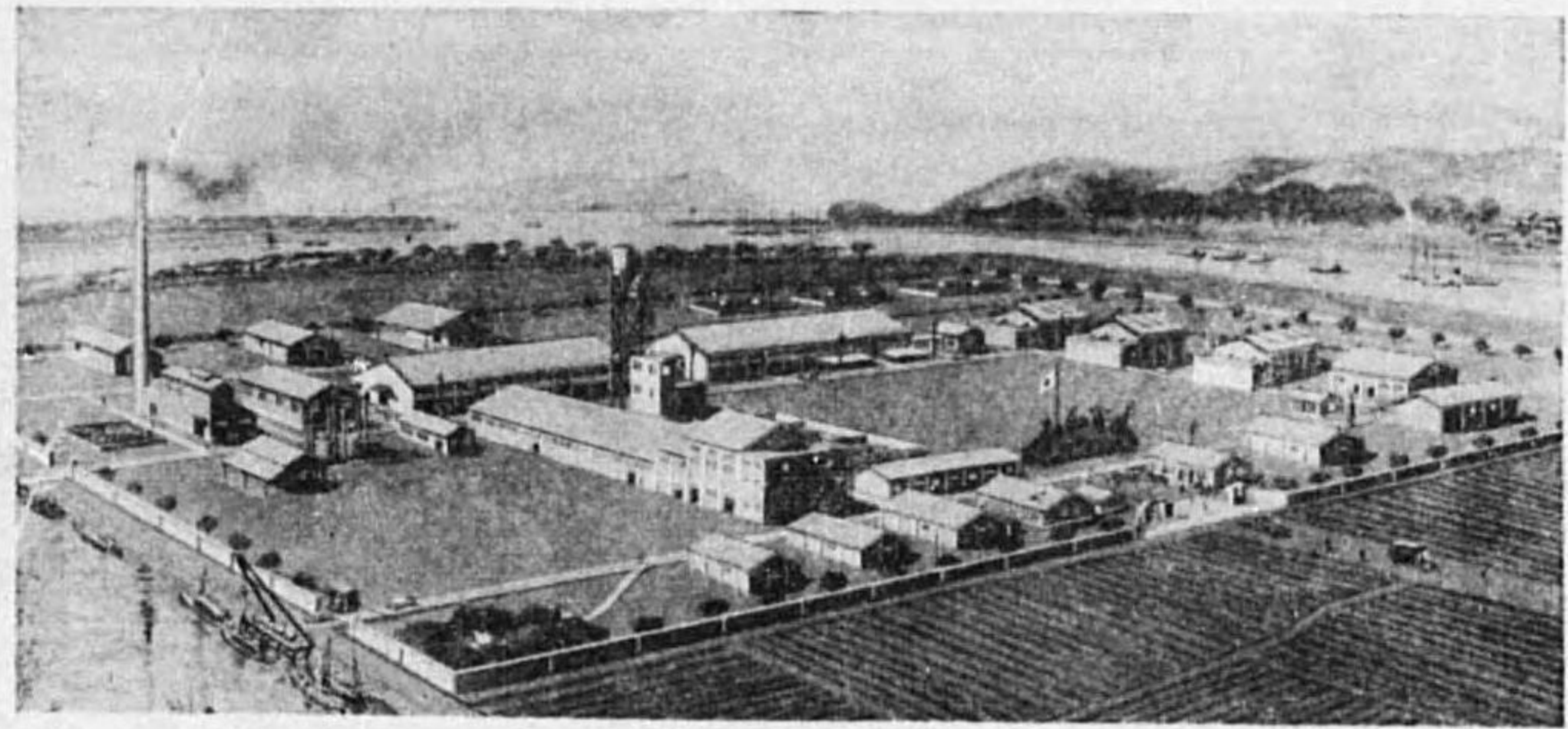


セルロイド生地及玩具雜貨

筒中セルロイド株式會社

大阪市東成區鶴橋南ノ町二丁目  
電話天王寺六九五・八六六番

河内工場 大阪府南河内郡國分村  
電話柏原六八番



各種セルロイド生地製造



瀧川セルロイド工業所

本社 大阪市東成區片江町二八番地  
電話天王寺<sup>㊦</sup>七九七番  
八三四番

網干工場 兵庫縣揖保郡網干町外  
電話網干<sup>一</sup>二二〇番  
私書函 網干局七號

製 品 種 目

セルロイド生地並ニ加工品  
 硝 化 綿…各種溶解度粘度  
 アセチロイド…不燃性耐酸維素可  
 アンプロイド…カゼイン角質物  
 ラクトロイド…同

カーボロイド…高級石炭酸系樹脂  
 マープロイド…尿素系樹脂  
 安全ガラス…貼合せガラス  
 セ ル シ…セロファン

大日本セルロイド株式会社

本社並ニ堺工場 堺市七道西町二一七番地 電話 堺長二〇五・九五〇番  
 代表自五八八〇番 至五八八四番  
 販賣係大阪出張所 大阪市東成區大今里町七〇九 電話南⑦三〇六二・三〇六三番  
 同 東京出張所 東京市向島區寺島町四ノ一三七 電話墨田一五七九・二九六三番  
 網干工場 神崎工場 東京工場 新井工場

14.5  
489

終

